



スナッグゴルフ



<p>スナッグゴルフとは</p>	<p>広さの限られた場所でも充分に楽しめ、スナッグの用具やプログラムには、ゴルフの基本技術である“フルショット” “ピッチショット”そして“コースプレイ”など「楽しく」「正確」に取得するため様々な工夫がされ、『子どもから大人まで』ゴルフのマナーやエチケットを練習・プレイを通して学ぶことができるスポーツです。</p>
<p>起源・歴史</p>	<p>ウォーリー・アームストロングとテリー・アントンの2人の元アメリカのプロツアープレーヤーによって、6年の歳月を費やし開発され、2001年米国世界最大のゴルフ業界展示会で初めて発表されました。</p>
<p>遊び方・ルール</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 スナッグフラッグを目指し、何打でくっつけられるかを争う。 2 通常6ホール、9ホール、18ホールのいずれかで行う。 3 最終的に合計打数の少ないプレイヤーから順位が決定する。 4 ランチャー(アイアン)を使用する時は、必ずランチパッドを使用する。 5 ローラー(パター)はグリーン上以外では使用しない。 6 ティーショットを打った後、ボールがグリーン外にある場合、ランチパッドを置き、再びティーアップをして打つ。 7 OB、ウォーターハザード、ロストボール等の場合は、1打罰でホールに近づかず1クラブ内から再度プレイする。
<p>その他</p>	<p>野球やサッカーのように学校の校庭、自治体の広場や競技場で気軽に楽しむことができます。また、子どもから高齢者まで、男女の区別、体格・体力に関係なくプレイを楽しむことができます。</p>

